

**2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

2019年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

コード番号 8729 URL <https://www.sonyfh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 茂

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 長谷川 康生 TEL 03-5290-6500 (代表)

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	413,654	△1.7	34,396	19.3	24,014	19.6
2019年3月期第1四半期	420,658	15.3	28,825	51.7	20,077	59.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 25,539百万円 ( 62.2%) 2019年3月期第1四半期 15,750百万円 ( 12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	55.20	55.19
2019年3月期第1四半期	46.15	46.15

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,989,361	655,213	4.7
2019年3月期	13,468,215	656,846	4.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 653,072百万円 2019年3月期 654,800百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	62.50	62.50
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	0.00	-	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,690,000	3.7	98,000	4.4	65,000	4.7	149.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	435,062,983株	2019年3月期	435,062,983株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	37,425株	2019年3月期	37,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	435,025,558株	2019年3月期1Q	434,994,276株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、8ページの「注意事項」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	4
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
2. 補足情報	
2019年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2019年6月末MCEV	9

※ 当社は、2019年度第1四半期 連結業績についての機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの様態については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ（下記URL ご参照）に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

「2019年度第1四半期 連結決算説明会」  
(2019年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2019年6月末MCEV)

開催予定日時 : 2019年8月8日（木）15:30～

当社ホームページURL : <https://www.sonyfh.co.jp/>

※ ソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」）、ソニー損害保険株式会社（以下「ソニー損保」）、ソニー銀行株式会社（以下「ソニー銀行」）は、本日それぞれ2019年度第1四半期業績を発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください（当社ホームページからもご参照いただけます）。

ソニー生命ホームページURL : <https://www.sonylife.co.jp/>

ソニー損保ホームページURL : <https://www.sonysonpo.co.jp/>

ソニー銀行ホームページURL : <https://sonybank.net/>

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	415,894	516,419
コールローン及び買入手形	93,700	90,100
買入金銭債権	4,916	4,465
金銭の信託	291,324	289,853
有価証券	10,373,188	10,740,010
貸出金	1,942,546	1,983,471
有形固定資産	104,128	103,613
無形固定資産	43,909	42,660
再保険貸	1,341	615
外国為替	8,471	9,756
その他資産	159,361	179,240
退職給付に係る資産	3,476	3,563
繰延税金資産	27,556	27,193
貸倒引当金	△1,602	△1,603
資産の部合計	13,468,215	13,989,361
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	9,479,071	9,651,365
支払備金	78,285	77,934
責任準備金	9,396,241	9,568,963
契約者配当準備金	4,544	4,467
代理店借	2,073	1,683
再保険借	5,769	4,545
預金	2,302,313	2,339,871
コールマネー及び売渡手形	130,611	204,283
借入金	203,871	204,015
外国為替	244	206
社債	20,000	20,000
その他負債	578,477	820,766
賞与引当金	4,377	2,039
退職給付に係る負債	34,081	34,270
特別法上の準備金	50,343	50,957
価格変動準備金	50,343	50,957
繰延税金負債	24	33
再評価に係る繰延税金負債	109	109
負債の部合計	12,811,368	13,334,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,963	19,963
資本剰余金	191,193	191,193
利益剰余金	319,886	316,711
自己株式	△55	△55
株主資本合計	530,987	527,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,800	130,165
繰延ヘッジ損益	△1,077	△1,134
土地再評価差額金	△2,439	△2,439
退職給付に係る調整累計額	△1,470	△1,332
その他の包括利益累計額合計	123,812	125,259
新株予約権	149	165
非支配株主持分	1,896	1,975
純資産の部合計	656,846	655,213
負債及び純資産の部合計	13,468,215	13,989,361

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
経常収益	420,658	413,654
生命保険事業	378,636	368,150
保険料等収入	268,909	300,901
(うち保険料)	268,418	300,348
資産運用収益	106,995	64,357
(うち利息及び配当金等収入)	40,423	43,501
(うち金銭の信託運用益)	1,127	1,127
(うち売買目的有価証券運用益)	—	7
(うち有価証券売却益)	3,265	1,238
(うち為替差益)	12,287	—
(うち特別勘定資産運用益)	49,892	18,480
その他経常収益	2,731	2,891
損害保険事業	29,701	31,865
保険引受収益	29,067	31,232
(うち正味収入保険料)	29,051	30,418
(うち積立保険料等運用益)	16	19
(うち支払備金戻入額)	—	795
資産運用収益	622	628
(うち利息及び配当金収入)	340	336
(うち有価証券売却益)	297	311
(うち積立保険料等運用益振替)	△16	△19
その他経常収益	12	4
銀行事業	10,711	11,856
資金運用収益	7,495	8,399
(うち貸出金利息)	4,308	4,519
(うち有価証券利息配当金)	3,169	3,861
役務取引等収益	1,965	2,525
その他業務収益	1,052	879
その他経常収益	198	51
その他	1,607	1,782
その他経常収益	1,607	1,782
経常費用	391,832	379,258
生命保険事業	356,460	340,500
保険金等支払金	100,823	109,439
(うち保険金)	22,755	23,320
(うち年金)	3,168	3,318
(うち給付金)	21,952	26,639
(うち解約返戻金)	49,629	52,978
(うちその他返戻金)	1,017	950
責任準備金等繰入額	202,035	168,995
支払備金繰入額	1,001	444
責任準備金繰入額	201,033	168,550
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	9,307	14,417
(うち支払利息)	247	748
(うち売買目的有価証券運用損)	40	—
(うち有価証券売却損)	34	—
(うち金融派生商品費用)	7,855	1,579
(うち為替差損)	—	11,039
事業費	35,425	37,346
その他経常費用	8,868	10,302

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
損害保険事業	25,703	27,757
保険引受費用	19,187	20,785
(うち正味支払保険金)	13,076	14,183
(うち損害調査費)	1,963	2,088
(うち諸手数料及び集金費)	360	342
(うち支払備金繰入額)	15	—
(うち責任準備金繰入額)	3,771	4,170
営業費及び一般管理費	6,515	6,971
その他経常費用	0	0
銀行事業	7,875	8,919
資金調達費用	1,897	2,413
(うち預金利息)	1,511	1,965
役務取引等費用	1,332	1,630
その他業務費用	1	0
営業経費	4,498	4,871
その他経常費用	146	3
その他	1,793	2,080
その他経常費用	1,793	2,080
経常利益	28,825	34,396
特別利益	0	—
固定資産等処分益	0	—
特別損失	550	658
固定資産等処分損	35	42
減損損失	7	1
特別法上の準備金繰入額	506	614
価格変動準備金繰入額	506	614
契約者配当準備金繰入額	23	102
税金等調整前四半期純利益	28,252	33,634
法人税及び住民税等	7,199	10,311
法人税等調整額	921	△769
法人税等合計	8,121	9,542
四半期純利益	20,131	24,092
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,077	24,014

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	20,131	24,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,515	1,244
繰延ヘッジ損益	0	△57
退職給付に係る調整額	134	139
持分法適用会社に対する持分相当額	—	120
その他の包括利益合計	△4,380	1,446
四半期包括利益	15,750	25,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,695	25,460
非支配株主に係る四半期包括利益	54	79



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益(注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	378,636	29,701	10,711	419,050	1,607	420,658
(2) セグメント間の内部経常 収益	775	0	67	843	—	843
計	379,412	29,702	10,778	419,893	1,607	421,501
セグメント利益	22,924	3,801	2,232	28,959	△185	28,773

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益(注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	368,150	31,865	11,856	411,872	1,782	413,654
(2) セグメント間の内部経常 収益	692	0	75	768	—	768
計	368,842	31,865	11,931	412,640	1,782	414,422
セグメント利益	28,320	3,892	2,438	34,651	△298	34,352

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメント計	28,959	34,651
「その他」の区分の損益	△185	△298
事業セグメントに配分していない損益 (注)	51	43
四半期連結損益計算書の経常利益	28,825	34,396

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

当社の連結業績※は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連 結 : ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

ソニー生命保険株式会社

ソニー損害保険株式会社

ソニー銀行株式会社

ソニーペイメントサービス株式会社

SmartLink Network Hong Kong Limited

ソニー・ライフケア株式会社

ライフケアデザイン株式会社

プラウドライフ株式会社

ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社\*

SFV・GB投資事業有限責任組合\*

持分法適用 : ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社

SA Reinsurance Ltd.

\* ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社が2019年3月期第2四半期連結会計期間より、SFV・GB投資事業有限責任組合が2019年3月期第4四半期連結会計期間より、新たに連結範囲に含まれております。

**注意事項**

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

## 2. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

### 2019年度第1四半期 連結業績およびソニー生命の2019年6月末MCEV

2019年度第1四半期 連結業績 .....	3
2019年度 連結業績予想 .....	18
ソニー生命の2019年6月末MCEV .....	20
Appendix .....	22

## 【プレゼンテーション資料】



## 2019年度第1四半期 連結業績および ソニー生命の2019年6月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
2019年8月8日

### AGENDA

2019年度第1四半期 連結業績	P. 3
2019年度 連結業績予想	P. 18
ソニー生命の2019年6月末MCEV	P. 20
Appendix	P. 22

#### 免責事項：

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

※本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示。

また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標。



## 2019年度第1四半期 連結業績

### 決算のポイント



#### FY19.1Q 連結業績

- ◆ 前年同期比 減収( $\Delta 1.7\%$ )、増益(+19.3%)
- ◆ 経常収益：主に生命保険事業において保険料等収入の増加があったものの、特別勘定運用益の減少により、減収。損害保険事業および銀行事業は増収。
- ◆ 経常利益：生命保険事業および銀行事業は増益、損害保険事業はほぼ横ばいとなった結果、増益。

#### 営業業績

- ◆ 引き続き3事業とも業容を拡大。
- ◆ ソニー生命の新契約高は、標準生命表改定にともなう料率改定の影響で高水準だった前年同期を下回る。保有契約高は、円高の影響などもあり、前年度末から微増にとどまる。

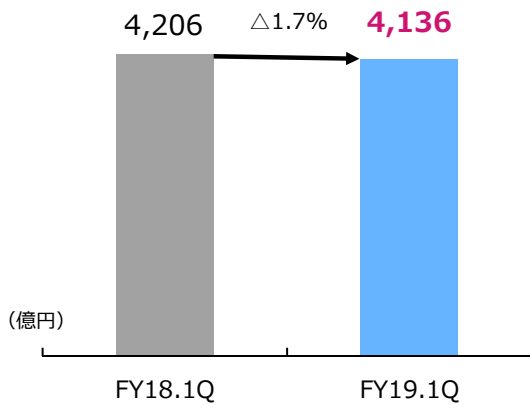
#### 経済価値 ベースの指標

- ◆ 6月末のMCEVは、1兆6,512億円。円金利の低下などにより、前年度末に比べ減少。
- ◆ FY19.1Q(3M)の新契約価値は170億円。法人契約の減少などにより前四半期に比べ減少。

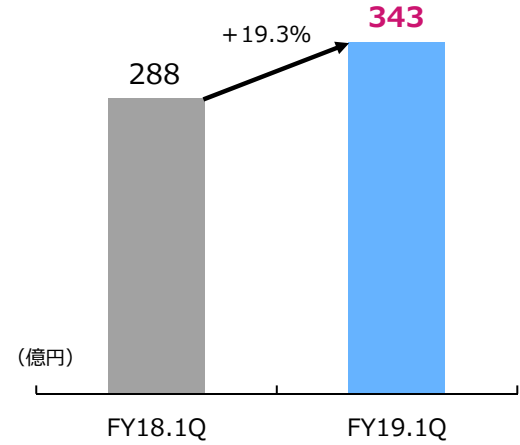
## 連結業績ハイライト

- ◆ 経常収益：損害保険事業および銀行事業において増加したものの、生命保険事業において減少したことにより、減収。
- ◆ 経常利益：生命保険事業および銀行事業で増加、損害保険事業でほぼ横ばいとなり、増益。

## 経常収益



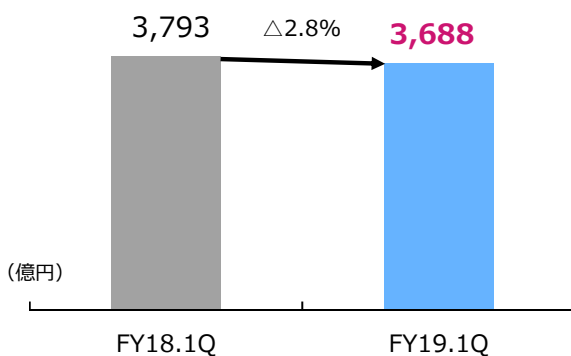
## 経常利益



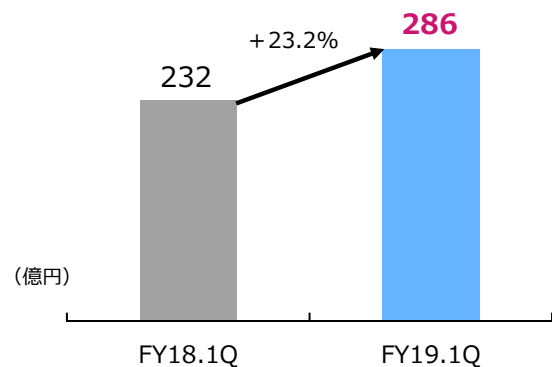
## ソニー生命：業績ハイライト（単体）

- ◆ 経常収益：保有契約高の堅調な推移などを受けた保険料等収入の増加があったものの、特別勘定における運用益の減少により、減収。
- ◆ 経常利益：一般勘定における有価証券売却益が減少したものの、新契約高が減少したことによる新契約獲得にかかる費用の減少、保険金等支払が低位に推移したこと、および保有契約高の拡大による利益の増加などにより、増益。

## 経常収益

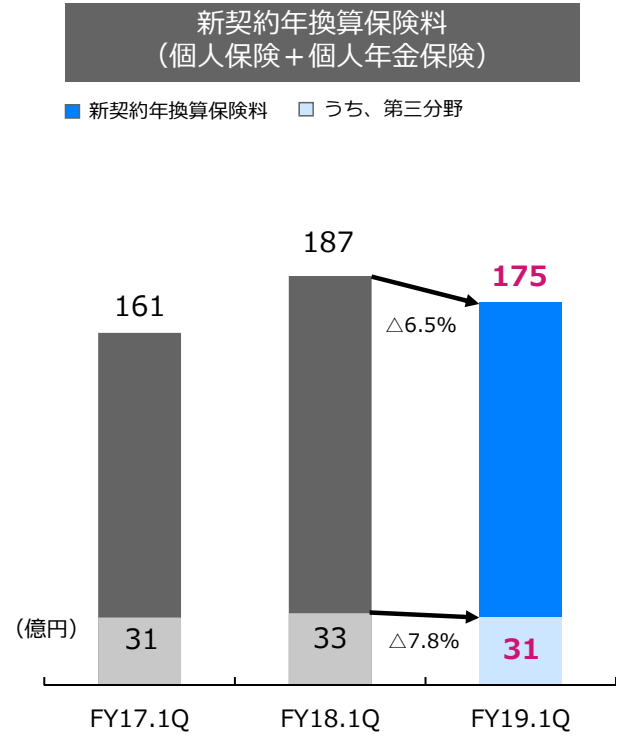
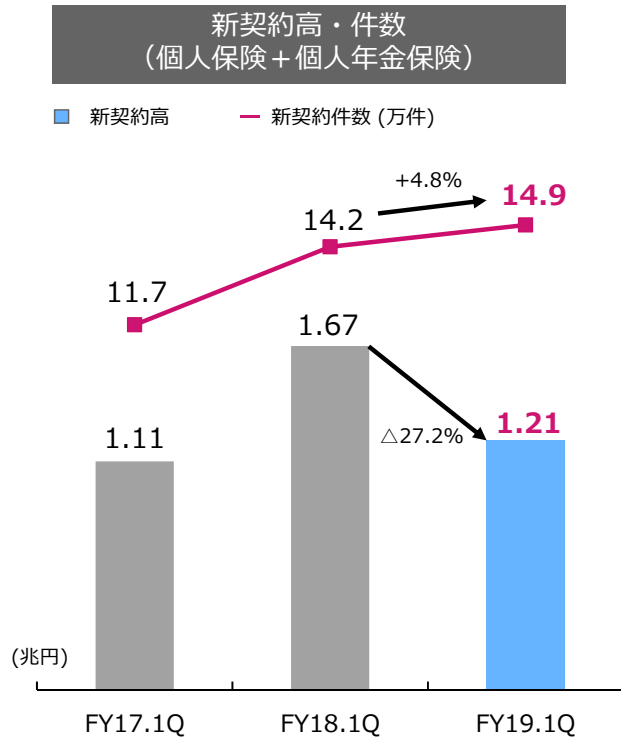


## 経常利益



## ソニー生命：業績（単体）①

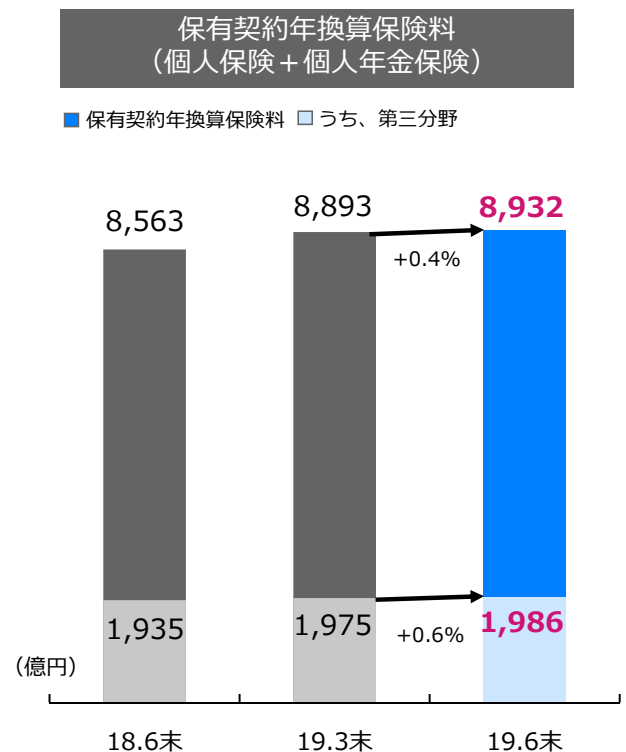
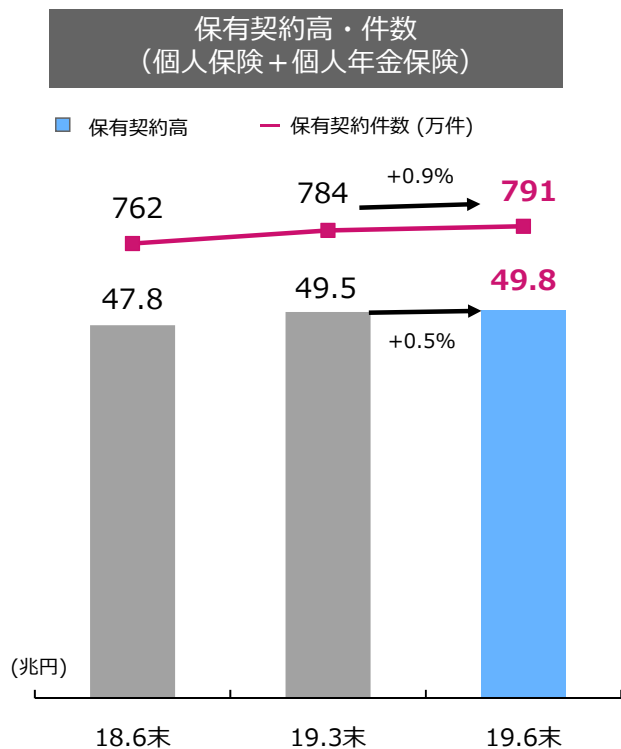
- ◆ 新契約高：家族収入保険の販売減少により、減少。
- ◆ 新契約年換算保険料：米ドル建保険の販売が好調であったものの、定期保険、変額保険の法人向け販売が減少したことにより、減少。



Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

7

## ソニー生命：業績（単体）②

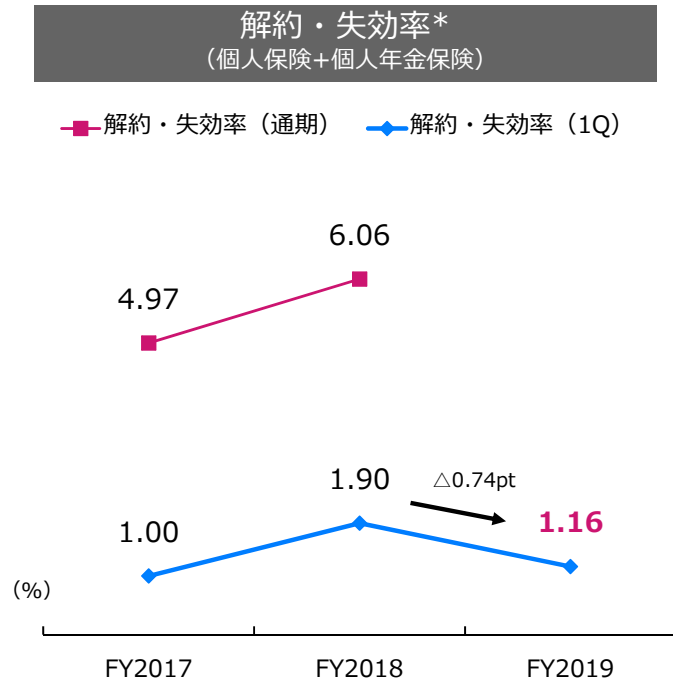


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

8

## ソニー生命：業績（単体）③

- ◆ 解約・失効率：2018年2月に料率改定を行った家族収入保険などの加入にともなう既契約の解約が減少傾向にあることから、低下。



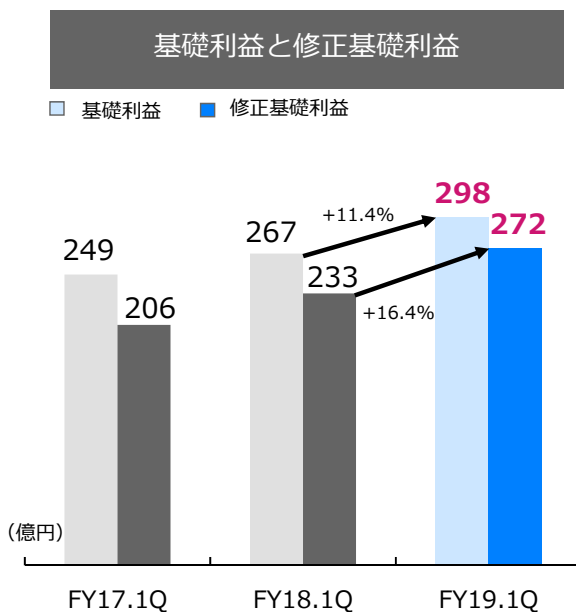
\* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

9

## ソニー生命：業績（単体）④

- ◆ 基礎利益：新契約高が減少したことによる新契約獲得にかかる費用の減少、保険金等支払が低位に推移したこと、および保有契約高の拡大による利益の増加により、増加。



## ◆ 基礎利益の内訳

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	FY19.1Q
順ざや額	45	42	47
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額 (△) (注1)	△1	△8	△20
修正基礎利益 (注2)	206	233	272

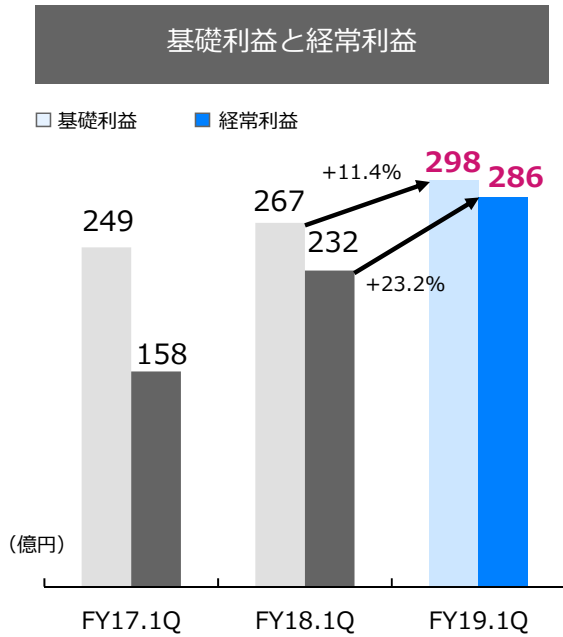
(注1) 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額のマイナスは繰入額。

(注2) 修正基礎利益 = 基礎利益 - 順ざや額 - 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額



## ソニー生命：業績（単体）⑤

◆ 経常利益：基礎利益の増加や変額保険に係るヘッジ損益が改善したことにより、増加。

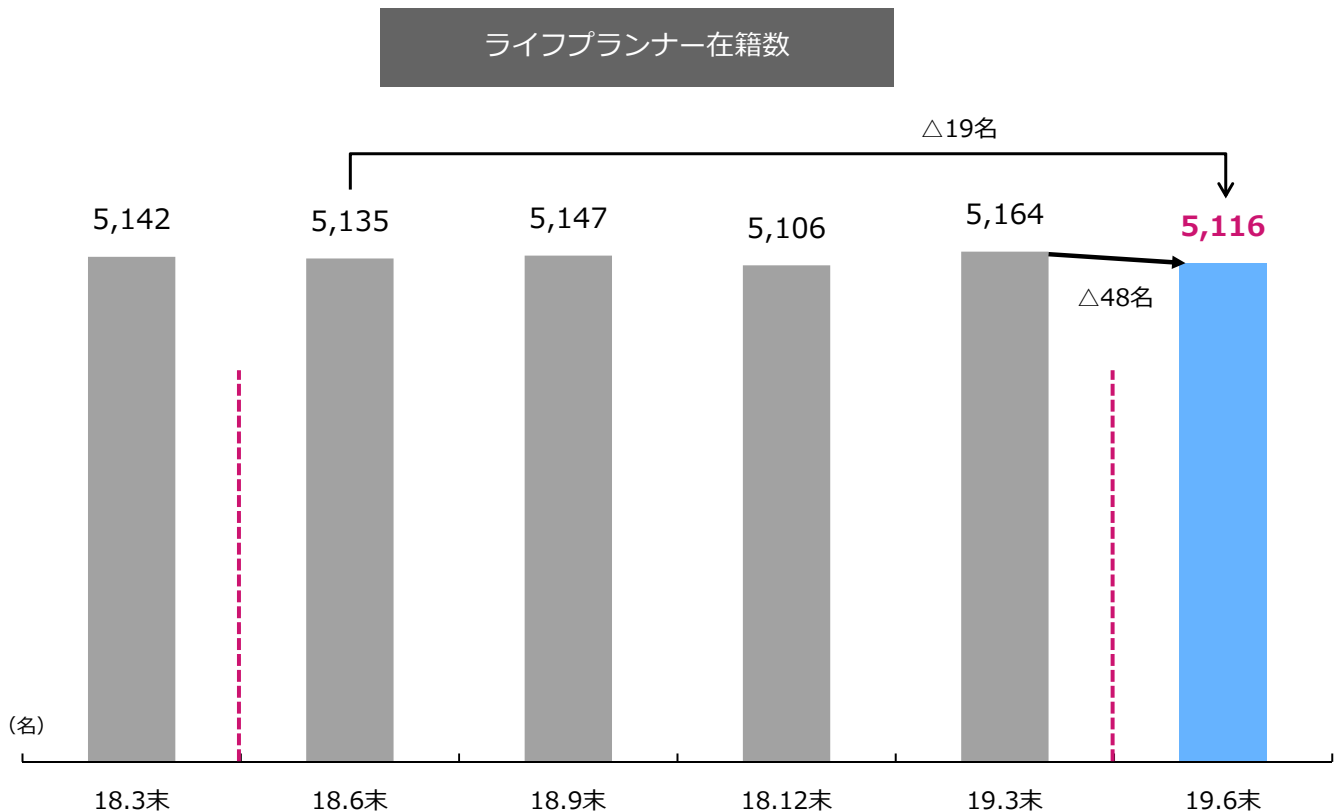


## ◆基礎利益からの差異

(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	FY19.1Q
基礎利益	249	267	298
キャピタル損益 (ヘッジ損益除く) (注1)	△30	26	25
変額保険に係るヘッジ損益	△42	△39	△14
危険準備金繰入額 (△) (注2)	△17	△21	△22
その他	△0	△0	△0
経常利益	158	232	286

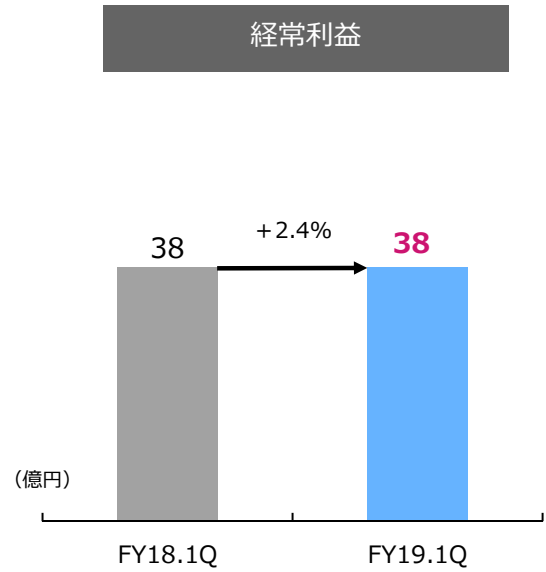
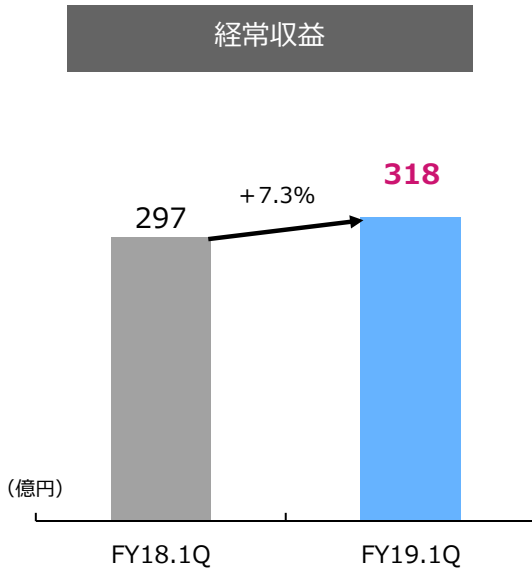
(注1) キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除く。  
 (注2) 危険準備金繰入額のマイナスは繰入額。

## ソニー生命：業績（単体）⑥



## ソニー損保：業績ハイライト

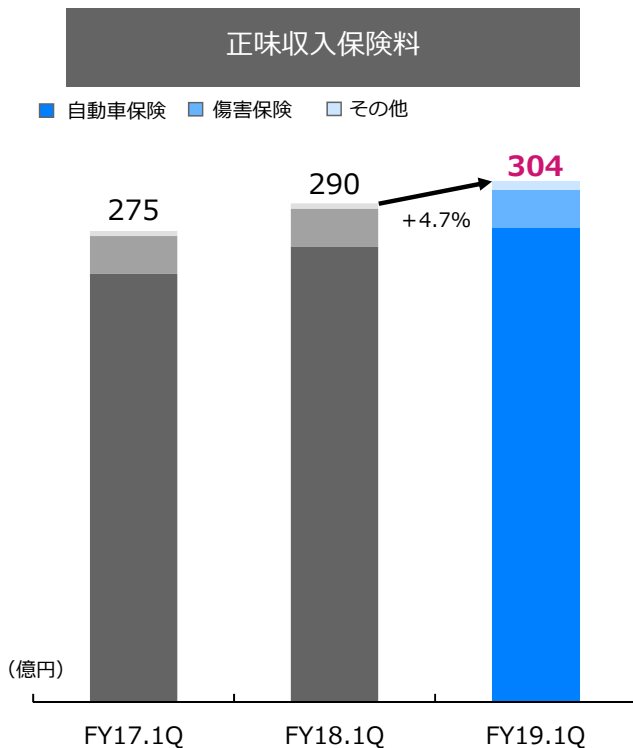
- ◆ 経常収益および経常利益：経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことなどにより、増収。経常利益はほぼ横ばい。



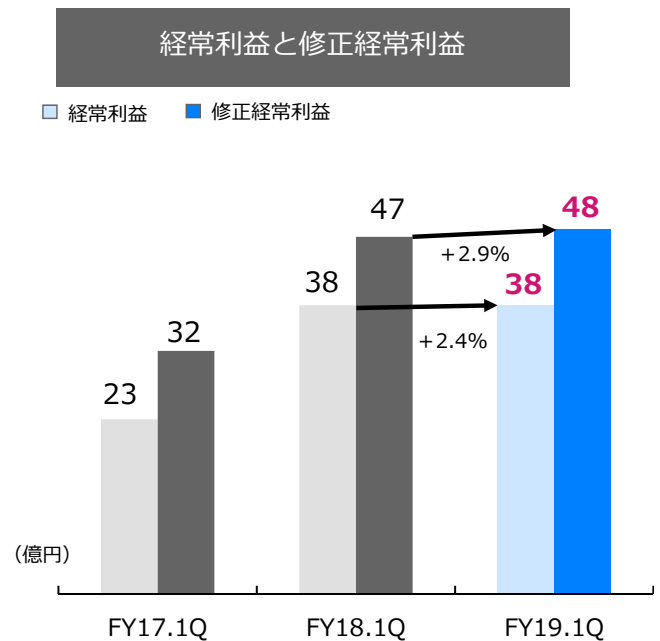
Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved. 13

## ソニー損保：業績 ①

- ◆ 正味収入保険料：主力の自動車保険の契約獲得が順調に推移したことから、増加。



(注) 傷害保険の正味収入保険料の大部分が医療保険。



※修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額

(ご参考) 異常危険準備金繰入状況

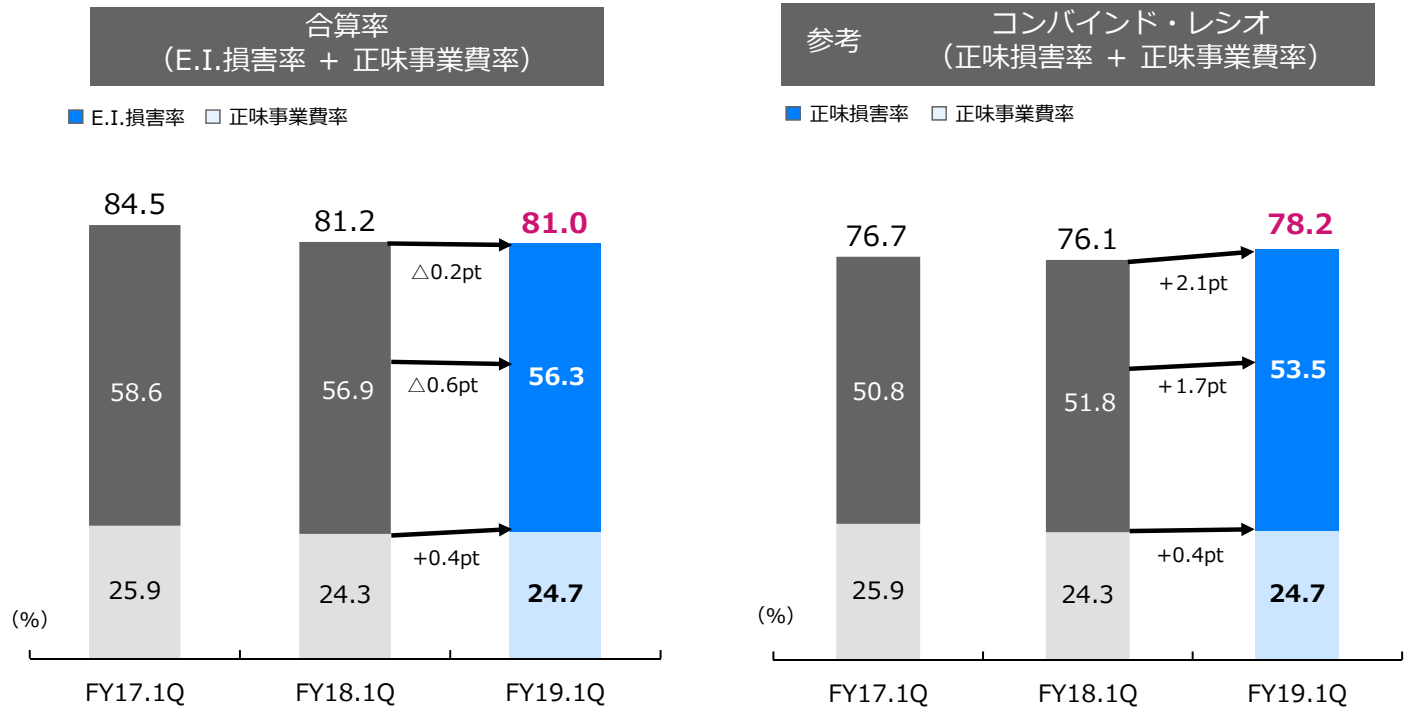
(億円)	FY17.1Q	FY18.1Q	FY19.1Q
異常危険準備金繰入額	8	9	9

(注) 異常危険準備金繰入額のプラスは繰入額。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved. 14

## ソニー損保：業績②

- ◆ 合算率：事業費率が上昇したものの、事故率の低下などによりE.I.損害率が低下し、ほぼ横ばい。



(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料  
[ 除く地震保険、自賠責保険 ]  
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

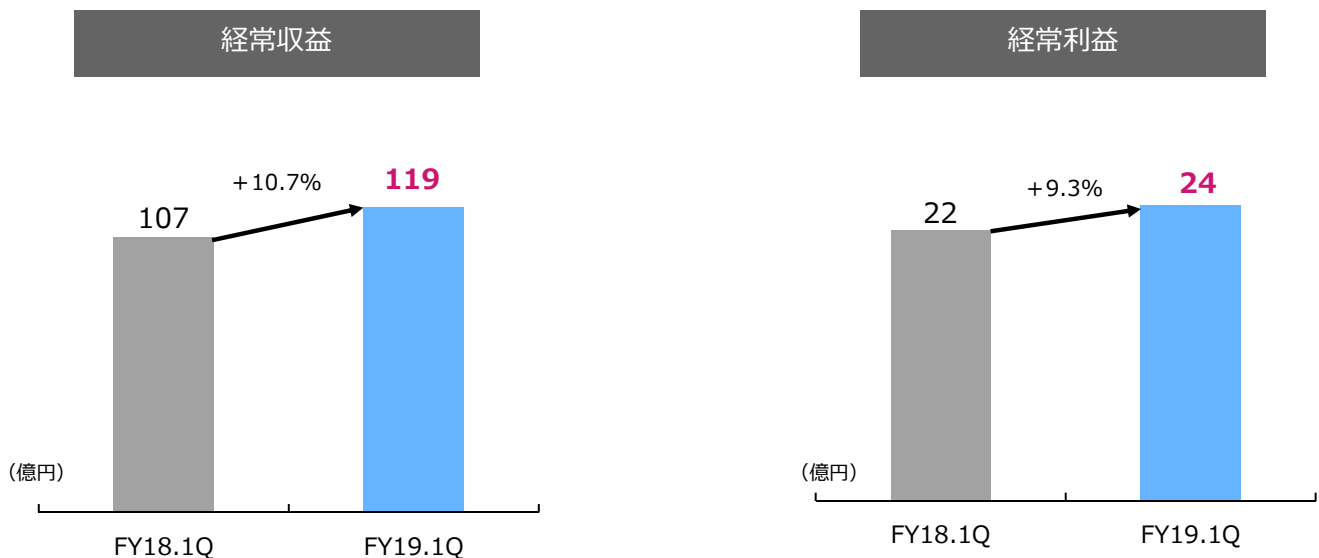
(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料  
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

15

## ソニー銀行：業績ハイライト（連結）

- ◆ 経常収益および経常利益：有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息の増加などにより、増収増益。

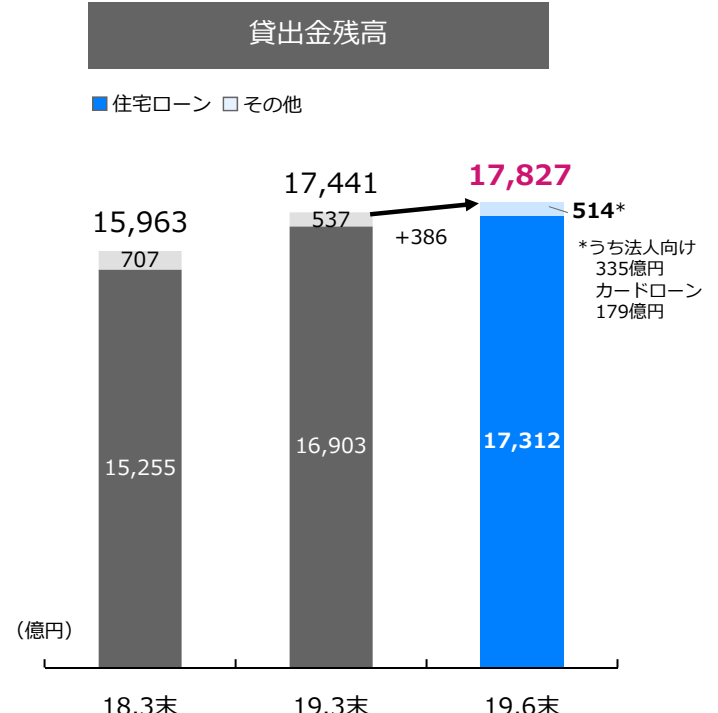
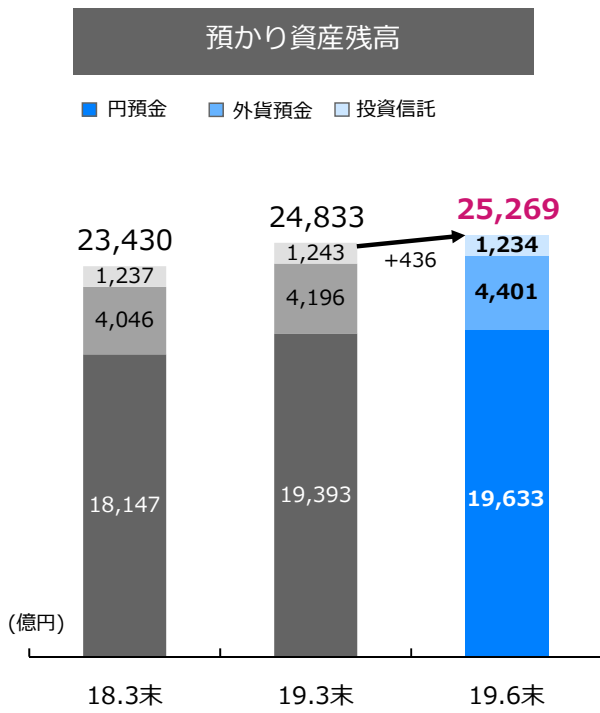


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

16

# ソニー銀行：業績（単体）

- ◆ 預かり資産残高
  - ・円預金：口座数増加にともなう新規資金の獲得により、増加。
  - ・外貨預金：円高進行にともない米ドル中心に購入が進み、増加。
- ◆ 貸出金残高
  - ・住宅ローンの着実な積上げにより、増加。



# 2019年度連結業績予想

連結業績予想については2019年4月26日に公表した数値から変更なし

主要3事業ともに期初の想定に対し、FY19.1Qの経常収益はほぼ想定通りに推移、  
経常利益は想定を上回ったものの、通期予想については、FY19.2Q以降の事業環境などを勘案し、据え置く。

(億円)	FY2018 (通期実績)	FY2019 (通期予想)	前年度比
経常収益	16,291	<b>16,900</b>	+3.7%
生命保険事業	14,643	<b>15,205</b>	+3.8%
損害保険事業	1,151	<b>1,212</b>	+5.3%
銀行事業	460	<b>493</b>	+7.1%
経常利益	938	<b>980</b>	+4.4%
生命保険事業	782	<b>842</b>	+7.7%
損害保険事業	68	<b>70</b>	+1.5%
銀行事業	95	<b>86</b>	△10.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	620	<b>650</b>	+4.7%

※上記業績予想には、ソニー生命によるソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの完全子会社化の影響は含まず。  
完全子会社化の影響については、現在精査中。



## ソニー生命の 2019年6月末MCEV

2019年6月末の数値については、一部簡易な計算を実施しています。  
計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

# ソニー生命：MCEV

- ◆ MCEV増減要因
  - ・円金利の低下などにより、前年度末に比べ690億円の減少。
- ◆ 新契約価値および新契約マージン
  - ・FY19.1Q (3M) の新契約価値は、法人契約の減少などにより、170億円。
  - ・FY19.1Q (3M) の新契約マージンは、金利低下による低下要因があったものの、保険前提の変更や商品構成の変化による上昇要因が上回り、FY18.4Q (3M) に比べ0.4ポイント上昇。

(億円)	19.3末	19.6末	増減 対19.3末
<b>MCEV</b>	17,202	<b>16,512</b>	△690
修正純資産	21,957	<b>24,320</b>	+2,362
保有契約価値	△4,755	<b>△7,807</b>	△3,052

(億円)	FY18.4Q (3M)	FY19.1Q (3M)
<b>新契約価値</b>	231	<b>170</b>
<b>新契約マージン</b>	5.0%	<b>5.4%</b>

(注) 2019年6月末のMCEVの計算は、2019年3月末の前提条件から、主に経済前提と解約・失効率をアップデート。

※国債レートやイールドカーブについては、P. 39-42参照。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

21

## Appendix |

- ◆ ソニーフィナンシャルグループ
  - 連結修正ROEの内訳
  - 連結修正利益および連結修正資本の内訳
  - 連結修正ROEの算式
  - 主要KPIのアップデート
  - 健全性指標
  - クロスセルの状況
- ◆ ソニー生命
  - 商品構成
  - 資産運用
  - 一般勘定資産内訳
  - 利配収入内訳
  - キャピタル損益内訳
  - 新契約高の四半期推移
  - 新契約年換算保険料の四半期推移
  - 新契約価値の四半期推移
  - ESR
  - 年金事業の業績
  - 日本国債レートの推移
  - リスクフリーレートの推移 (日本円)
  - 米国債レートの推移
  - リスクフリーレートの推移 (米ドル)
- ◆ 各社業績データ (要約財務諸表等)
  - SFH連結・ソニー生命・ソニー損保・ソニー銀行

## 連結修正ROEの内訳

	FY2018 (12M)	FY18.1Q (3M)	FY19.1Q (3M)
連結修正ROE	6.7%	1.7%	<b>1.4%</b>
(ソニー生命) コアROEV	6.4%	1.6%	<b>1.2%</b>
(ソニー損保) 修正ROE	15.2%	7.0%	<b>6.5%</b>
(ソニー銀行) ROE	7.3%	1.7%	<b>1.8%</b>

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

23

## 連結修正利益および連結修正資本の内訳

### ◆ 修正利益 (分子)

ソニーフィナンシャル グループ (連結) (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
修正利益 (連結)	1,204	303	<b>259</b>

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
新契約価値 *	913	219	<b>170</b>
保有契約価値からの貢献 *	150	35	<b>37</b>
修正利益	1,064	255	<b>208</b>

ソニー損保 (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
当期 (四半期) 純利益	49	27	<b>27</b>
異常危険準備金繰入額 (税後)	26	6	<b>7</b>
価格変動準備金繰入額 (税後)	0	0	<b>0</b>
修正利益	76	33	<b>34</b>

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	63	14	<b>16</b>

### ◆ 修正資本 (分母)

ソニーフィナンシャル グループ (連結) (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
修正資本 (連結)	18,018	17,358	<b>18,118</b>

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
①前年度末MCEV	16,331	16,331	<b>17,202</b>
②配当額	262	262	<b>322</b>
③当年度 (当四半期) 末MCEV *	17,202	15,934	<b>16,512</b>
修正資本 (①-②+③) ÷ 2	16,635	16,002	<b>16,696</b>

ソニー損保 (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
①純資産の部	347	331	<b>351</b>
②異常危険準備金 (税後)	177	157	<b>184</b>
③価格変動準備金 (税後)	1	1	<b>1</b>
修正資本 ( (①+②+③) の期中平均額 )	505	487	<b>532</b>

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2018	FY18.1Q	FY19.1Q
修正資本 (純資産の部の期中平均額)	876	869	<b>889</b>

\*FY18.1QおよびFY19.1Qは、計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

24

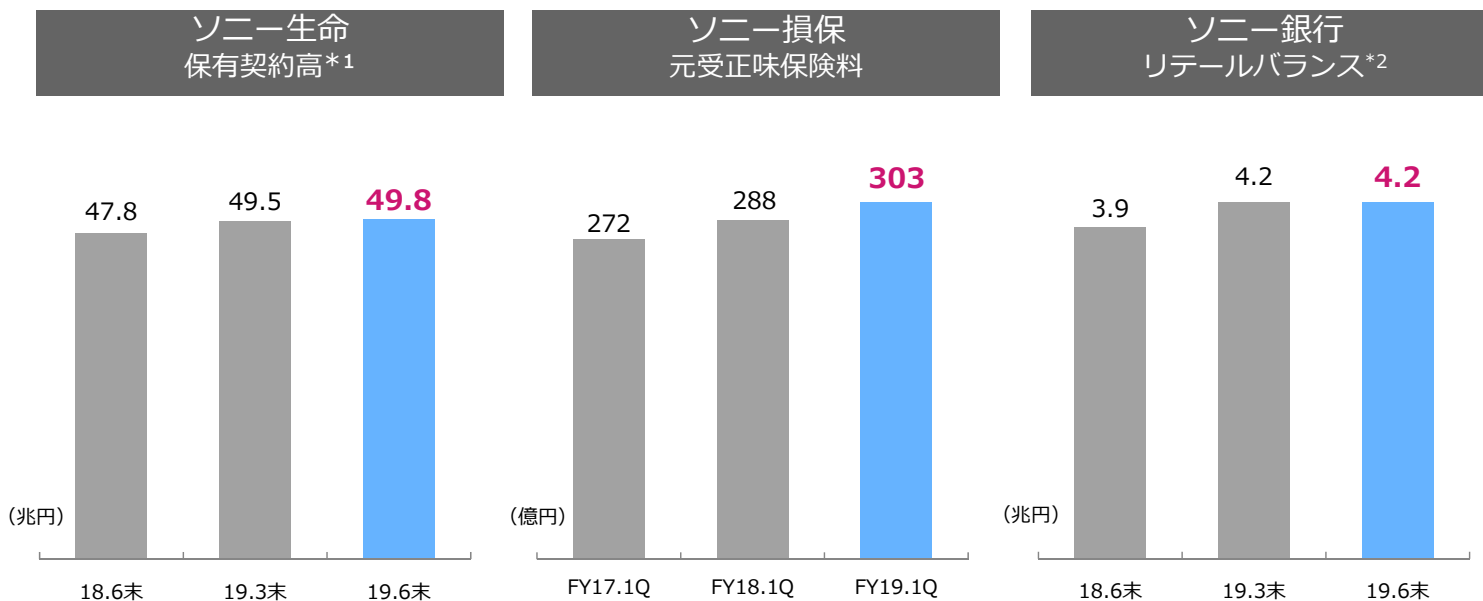
# 連結修正ROEの算式

保険事業や銀行事業などグループ各社の業態が異なるため、各事業ごとに、修正利益および修正資本に基づく「修正ROE」を算出し、企業価値や資本効率の的確な把握に努める。グループ各社の修正ROEの算式は以下のとおり。

ソニーフィナンシャルグループ*			
	ソニー生命 コアROEV	ソニー損保 修正ROE	ソニー銀行 ROE
<b>分子 (修正利益)</b>	新契約価値 + 保有契約価値からの貢献 ①	+ 当期純利益 + 異常危険準備金繰入額(税後) + 価格変動準備金繰入額(税後) ②	+ 親会社株主に帰属する 当期純利益 ③
<b>分母 (修正資本)</b>	(前年度末MCEV - 配当額 + 当年度末MCEV) ÷ 2 ④	+ 以下の期中平均値 (純資産の部 + 異常危険準備金(税後) + 価格変動準備金(税後)) ⑤	+ 純資産の部の期中平均値 ⑥

\* グループの連結修正ROE = 連結修正利益 ÷ 連結修正資本  
 連結修正利益 = ① + ② + ③  
 連結修正資本 = ④ + ⑤ + ⑥

# 主要KPIのアップデート



\*1 個人保険、個人年金保険の合計

\*2 円預金、外貨預金、投資信託、金融商品仲介、一任勘定媒介、個人ローンの合算



## 健全性指標

	18.6末	19.3末	19.6末	前年度末比
ソニー生命（単体） ソルベンシー・マージン比率	2,648.6%	2,590.5%	<b>2,612.5%</b>	+22.0pt
ソニー損保 ソルベンシー・マージン比率	828.4%	813.0%	<b>872.9%</b>	+59.9pt
ソニー銀行（単体） 自己資本比率（国内基準）	10.42%	9.58%	<b>9.54%</b>	△0.04pt

## クロスセルの状況

## ◆ ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローン取扱い状況

FY19.1Q(3M)の住宅ローン新規融資実行金額の11%

2019年6月末の住宅ローン残高の18%

※銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



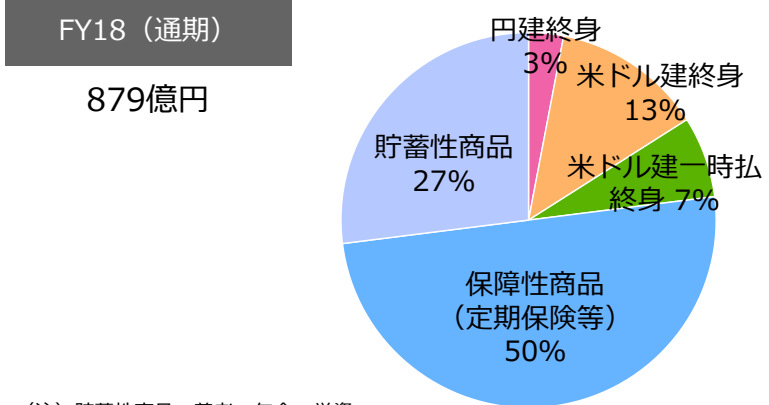
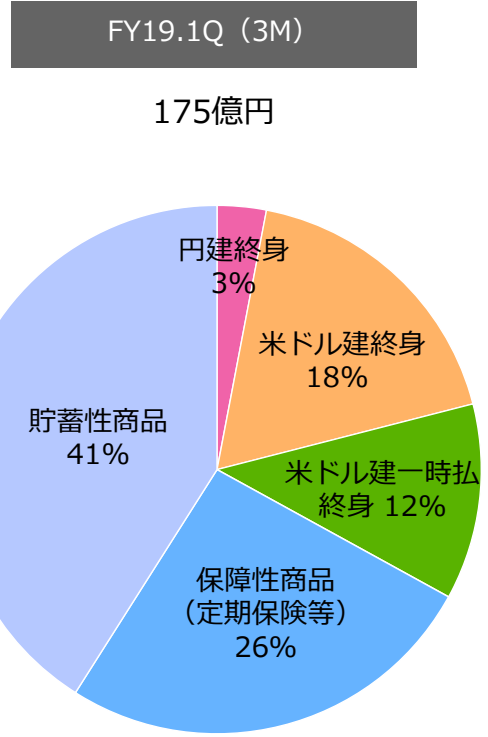
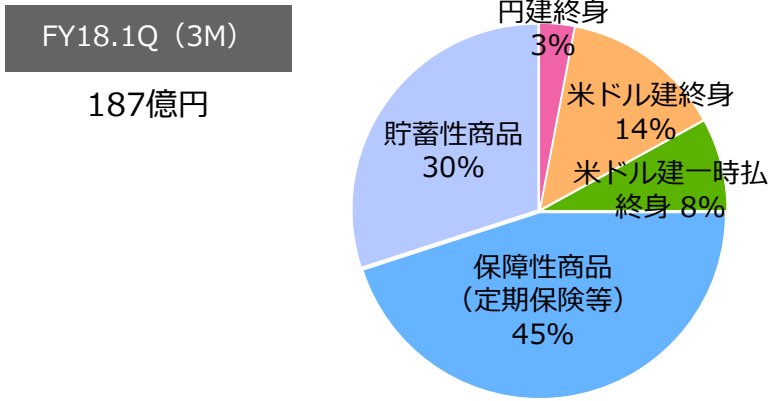
## ◆ ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

FY19.1Q(3M)の新規自動車保険契約件数の6%

※自動車保険取扱い開始：2001年5月

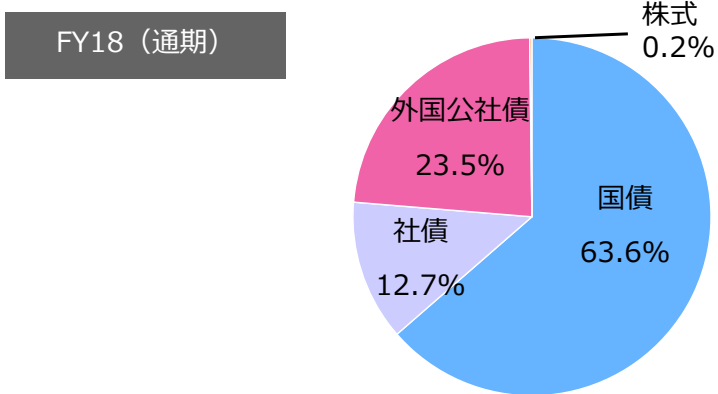
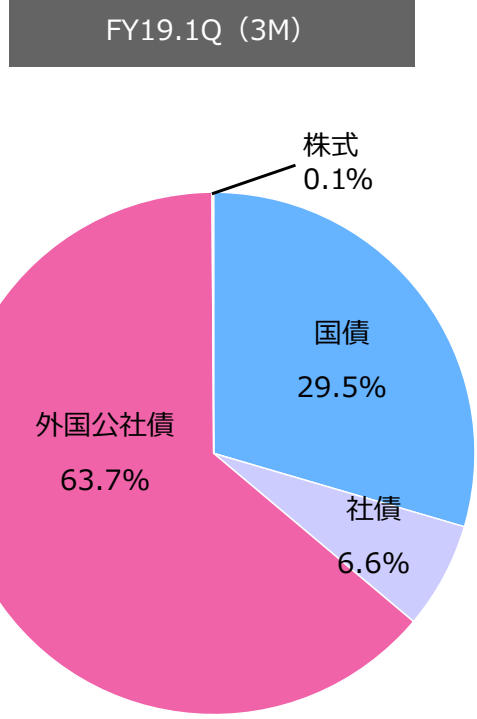
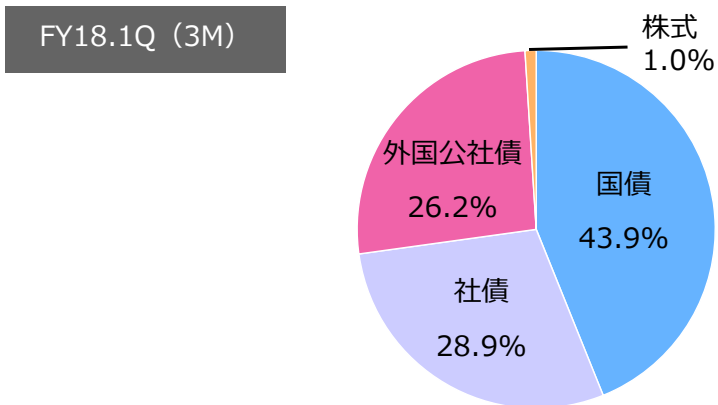


# ソニー生命：商品構成（商品種類別新契約年換算保険料）



(注) 貯蓄性情商品：養老・年金・学資

# ソニー生命：資産運用（一般勘定資産における有価証券の購入）



(注1) 社債には、財投機関債、政府保証債を含む。  
 (注2) 上記の表は対象期間の購入金額を100%とした資産配分（子関連出資・政策投資を除く）。

## ソニー生命：一般勘定資産内訳

### ◆ 資産運用状況

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続

(億円)	19.3末		19.6末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	77,453	85.3%	<b>78,484</b>	<b>83.2%</b>
株式	286	0.3%	<b>286</b>	<b>0.3%</b>
外国公社債	5,421	6.0%	<b>7,105</b>	<b>7.5%</b>
外国株式等	225	0.2%	<b>205</b>	<b>0.2%</b>
金銭の信託	2,693	3.0%	<b>2,679</b>	<b>2.8%</b>
約款貸付	1,983	2.2%	<b>2,006</b>	<b>2.1%</b>
不動産 (注)	908	1.0%	<b>905</b>	<b>1.0%</b>
現預金・コールローン	619	0.7%	<b>1,264</b>	<b>1.3%</b>
その他	1,202	1.3%	<b>1,349</b>	<b>1.4%</b>
合計	90,794	100.0%	<b>94,286</b>	<b>100.0%</b>

#### ◆ 債券のDuration

2018.3末 21.4年  
2019.3末 21.8年  
2019.6末 21.9年

#### ◆ 「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用

◆ 一般勘定資産における公社債（金銭の信託で運用されているものを含む）の実質的な構成比

2018.3末 89.5%  
2019.3末 88.3%  
2019.6末 86.1%

(注) 「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上。

## ソニー生命：利配収入内訳

(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比
公社債	32,010	<b>33,011</b>	+3.1%
株式	100	<b>81</b>	△19.0%
外国証券	4,053	<b>6,141</b>	+51.5%
その他の証券	277	—	△100.0%
貸付	1,685	<b>1,736</b>	+3.0%
不動産	2,151	<b>2,422</b>	+12.6%
その他	139	<b>109</b>	△21.8%
合計	40,419	<b>43,501</b>	+7.6%

## ソニー生命：キャピタル損益内訳

(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q
<b>キャピタル費用</b>	16,850	12,643
売買目的有価証券運用損	42	—
有価証券売却損…(3)	34	—
金融派生商品費用	7,855	1,579
変額保険に係るヘッジ損…(1)	3,901	1,781
その他有価証券に係るヘッジ損…(2)	874	△222
米ドル建保険関係の為替差損…(4)	2,974	7
為替差損	—	11,039
米ドル建保険関係の為替差損…(4)	—	11,365
変額保険に係るヘッジ損…(1)	—	△333
その他キャピタル費用	8,917	25
米ドル建保険関係の為替変動に係る責任準備金等繰入額…(4)	8,917	—

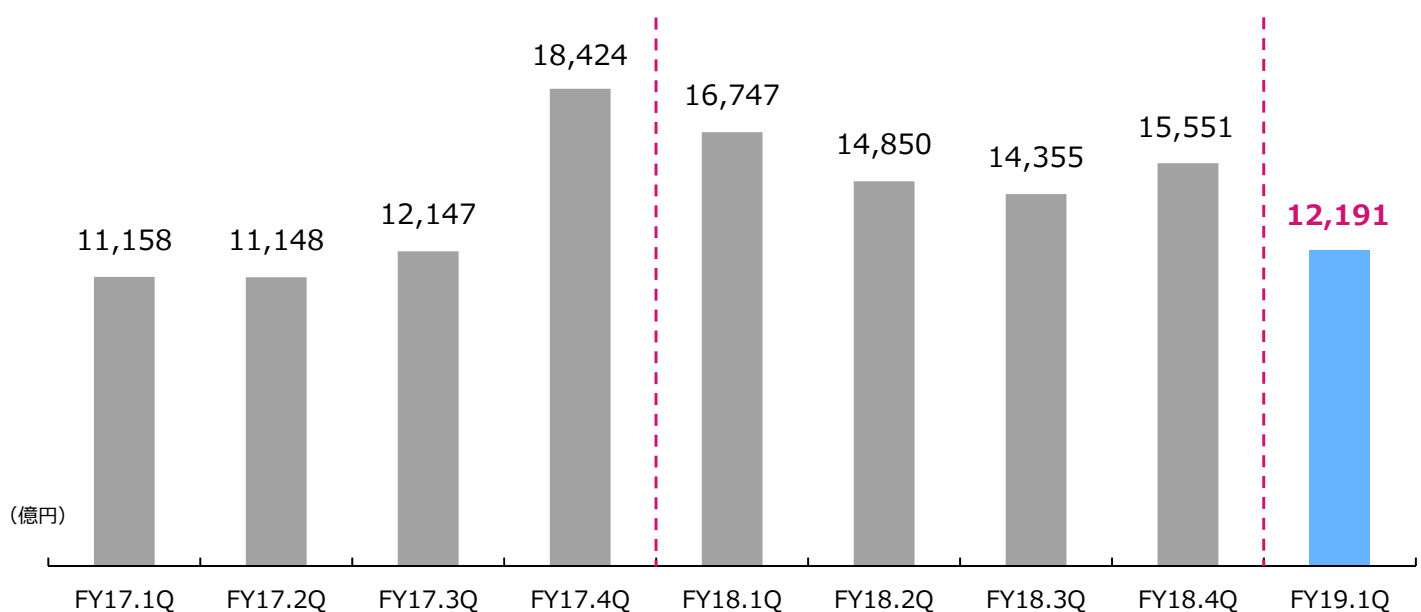
(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q
<b>キャピタル収益</b>	15,552	13,741
有価証券売却益…(3)	3,265	1,238
為替差益	12,287	—
米ドル建保険関係の為替差益…(4)	12,203	—
その他キャピタル収益	—	12,497
米ドル建保険関係の為替変動に係る責任準備金等戻入額…(4)	—	12,497
<b>キャピタル損益</b>	△1,297	1,097

(注) 売買目的有価証券運用益(損)、金融派生商品収益(費用)、為替差益(差損)は、それぞれ相殺後の金額を計上。

## ◆ 主な項目のキャピタル損益(純額)

(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q
(1)変額保険に係るヘッジ損益	△3,901	△1,447
(2)その他有価証券に係るヘッジ損益	△874	222
(3)有価証券売却損益	3,230	1,238
(4)米ドル建保険関係損益	311	1,124

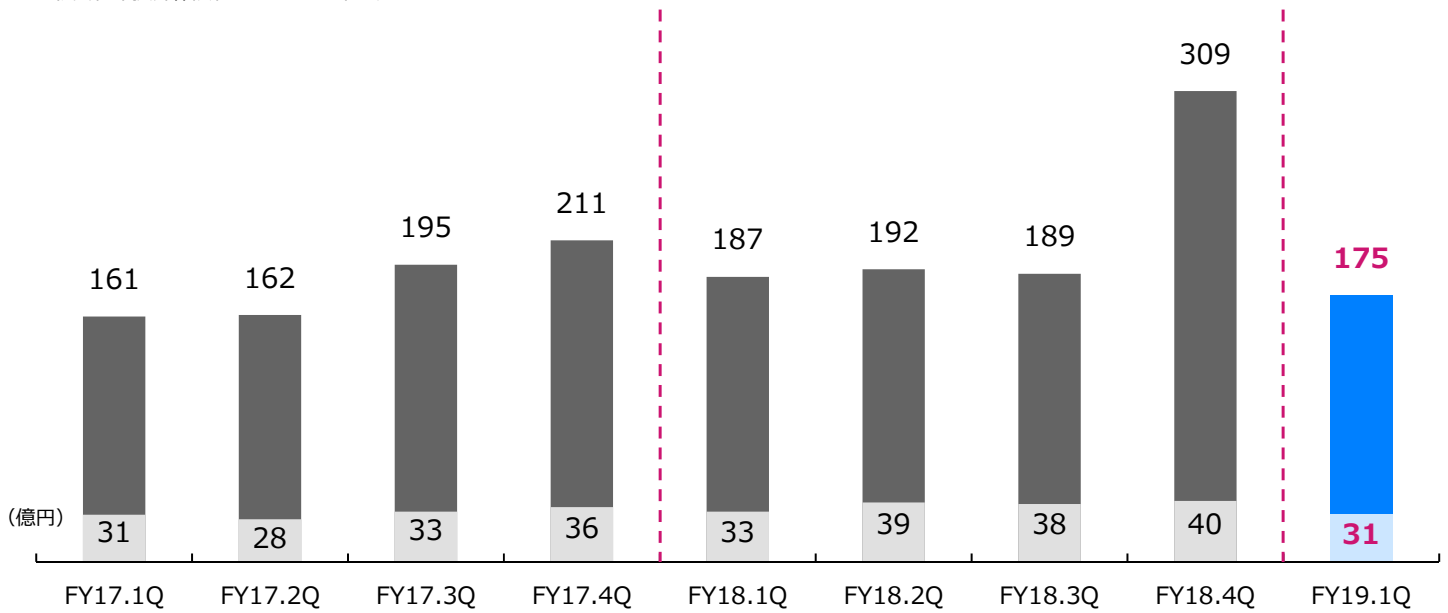
## ソニー生命：新契約高の四半期推移



(注) 個人保険・個人年金保険の合計

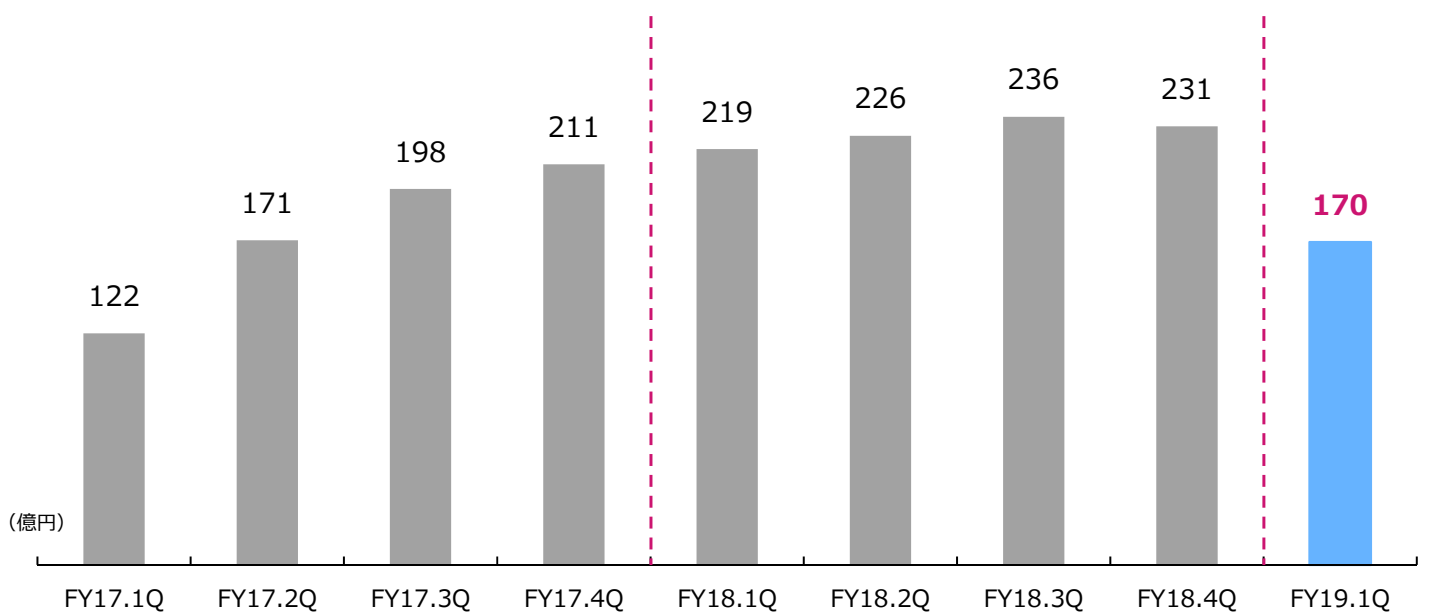
## ソニー生命：新契約年換算保険料の四半期推移

■ 新契約年換算保険料 □ うち、第三分野



(注) 個人保険・個人年金保険の合計

## ソニー生命：新契約価値の四半期推移



(注) 新契約価値は、各月の新契約を各月末の経済前提で評価。2018年3月末に実施した保険リスク計測手法等の見直しを2018年度より反映。

# ソニー生命：ESR

- ◆ 経済価値ベースのリスク量は、金利低下による保険リスクの増加を金利リスクの減少が相殺し、前年度末に比べ161億円増加の、7,585億円。
- ◆ ESRは、MCEVの減少などにより、前年度末に比べ14ポイント低下し、220%。

(億円)	19.3末	19.6末	増減 対19.3末
保険リスク	5,473	<b>5,862</b>	+388
市場関連リスク	3,325	<b>2,999</b>	△326
うち金利リスク	2,021	<b>1,592</b>	△428
オペレーショナルリスク	334	<b>350</b>	+16
カウンターパーティリスク	30	<b>41</b>	+10
分散効果	△1,740	△ <b>1,668</b>	+72
<b>経済価値ベースのリスク量</b>	7,423	<b>7,585</b>	+161

(億円)	19.3末	19.6末	増減 対19.3末
<b>MCEV+フリクショナル・コスト</b>	17,437	<b>16,722</b>	△715
<b>ESR</b>	235%	<b>220%</b>	△14pt

(注) 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク（保険リスク、市場関連リスクなど）を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量。

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、内部モデルを採用。

(注) 金利リスクは、市場関連リスク内での分散効果考慮前のリスク量。

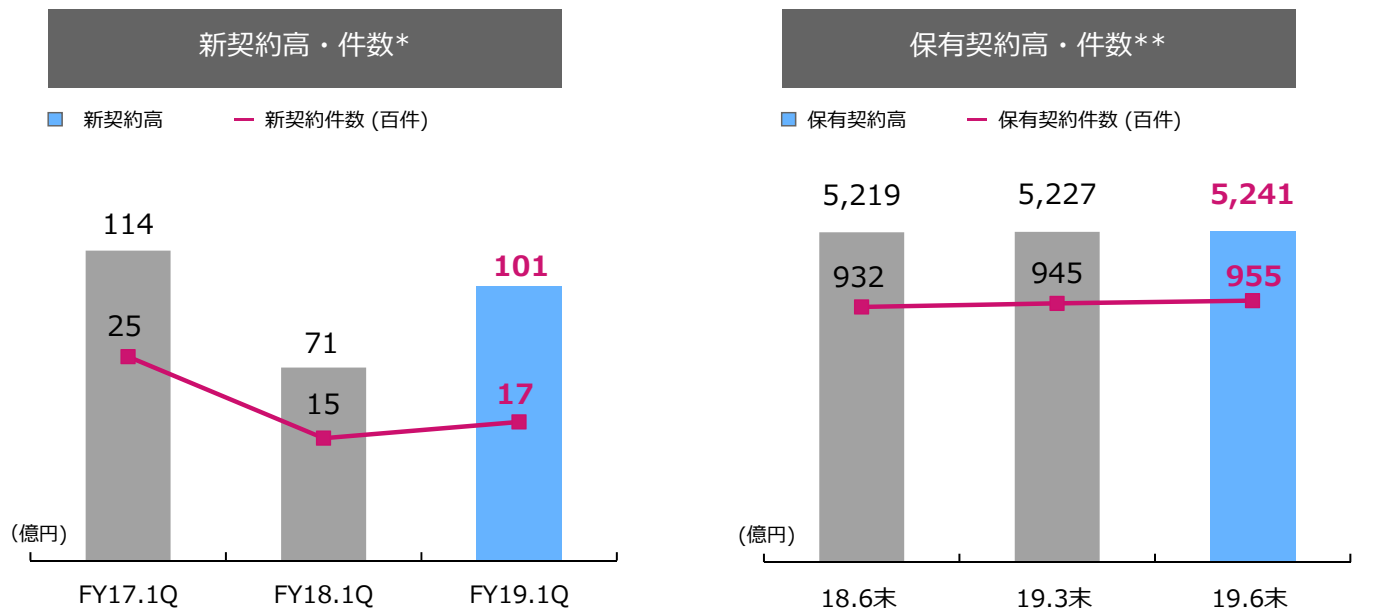
(注) ESRは「(MCEV+フリクショナル・コスト) / 経済価値ベースのリスク量」。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

37

## 年金事業の業績

- ◆ ソニーライフ・エイゴン生命の新契約高および保有契約高



\*FY17.1QおよびFY18.1Qは個人年金保険、FY19.1Qは個人保険、個人年金保険の合計

\*\*18.6末は個人年金保険、19.3末および19.6末は個人保険、個人年金保険の合計

- ◆ ソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの四半期純利益（△損失）

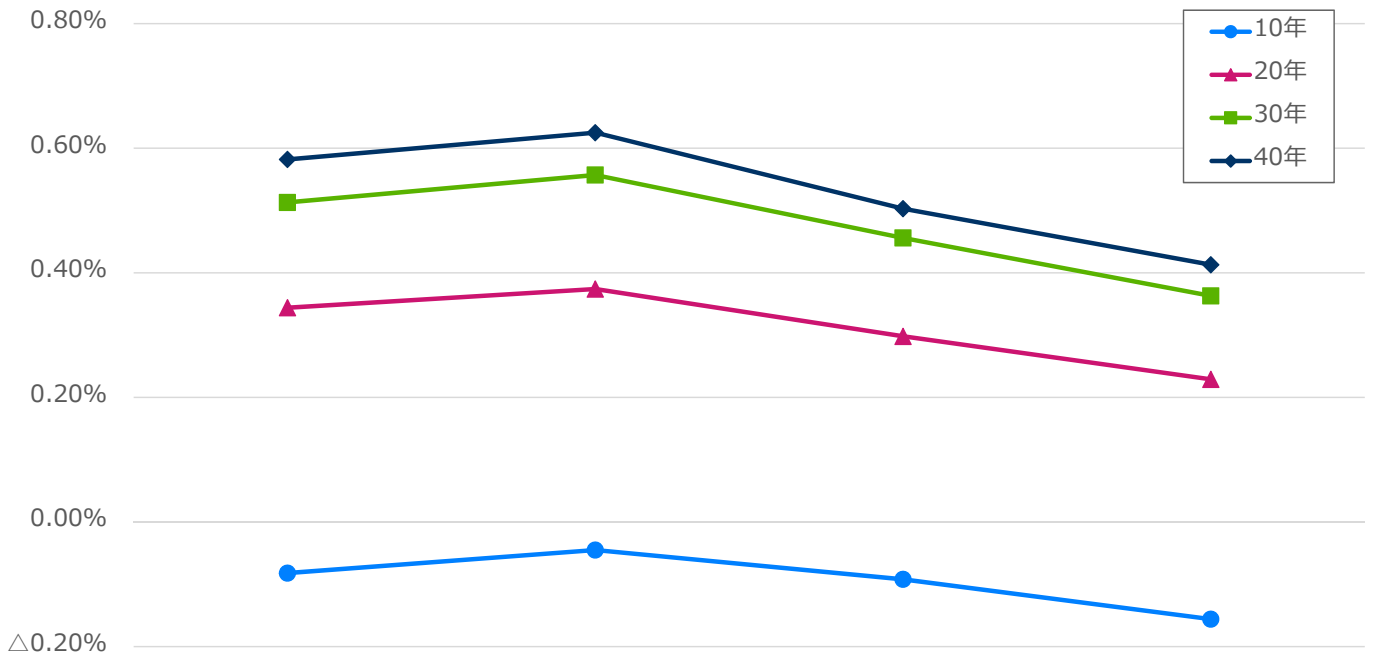
(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期差
ソニーライフ・エイゴン生命	△8	△4	+4
SA Reinsurance	3	0	△2

(注) ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資（50:50）による合弁会社であり、SFHの持分法適用関連会社。SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠。SFHの親会社株主に帰属する四半期純利益には上記の金額に対する持分相当（50%）を反映。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

38

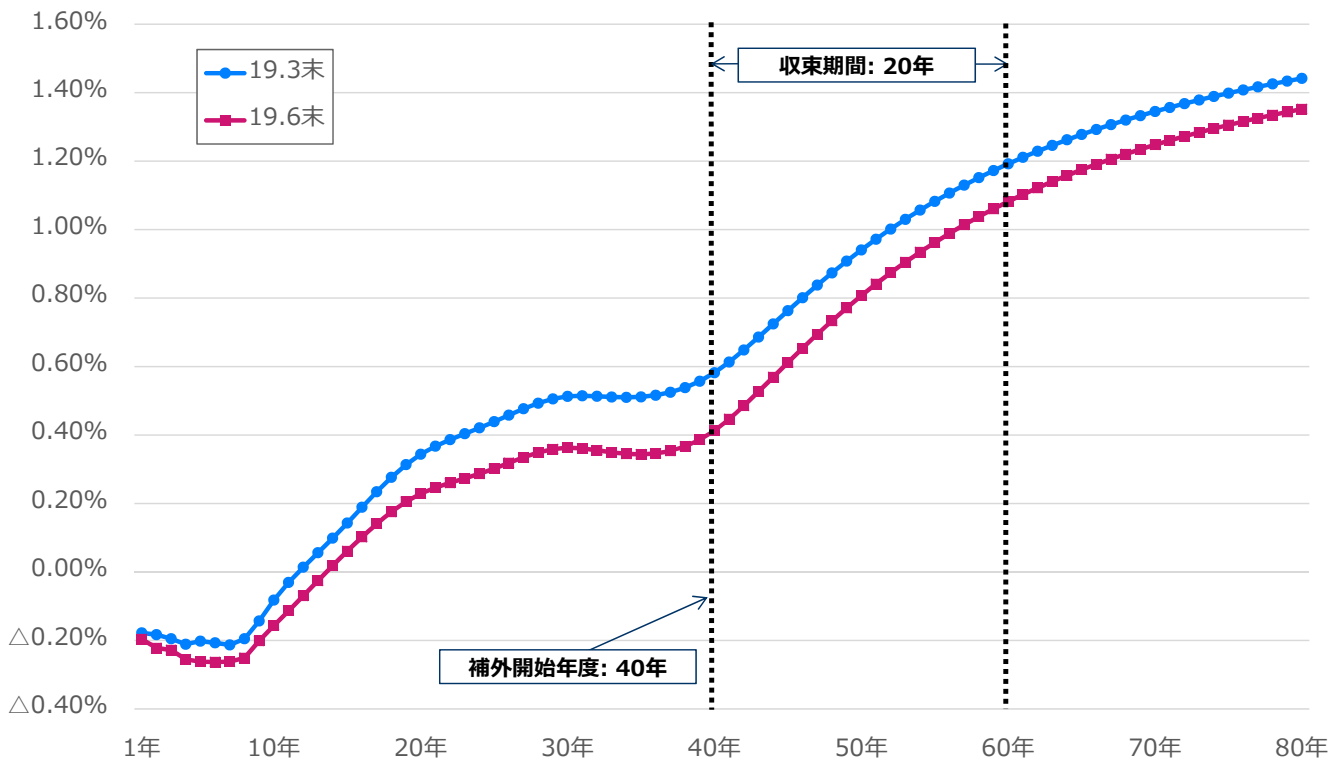
# 日本国債レートの推移 (パーレート)



	19.3末	19.4末	19.5末	19.6末
10年	△0.08%	△0.05%	△0.09%	△0.16%
20年	0.34%	0.37%	0.30%	0.23%
30年	0.51%	0.56%	0.46%	0.36%
40年	0.58%	0.63%	0.50%	0.41%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

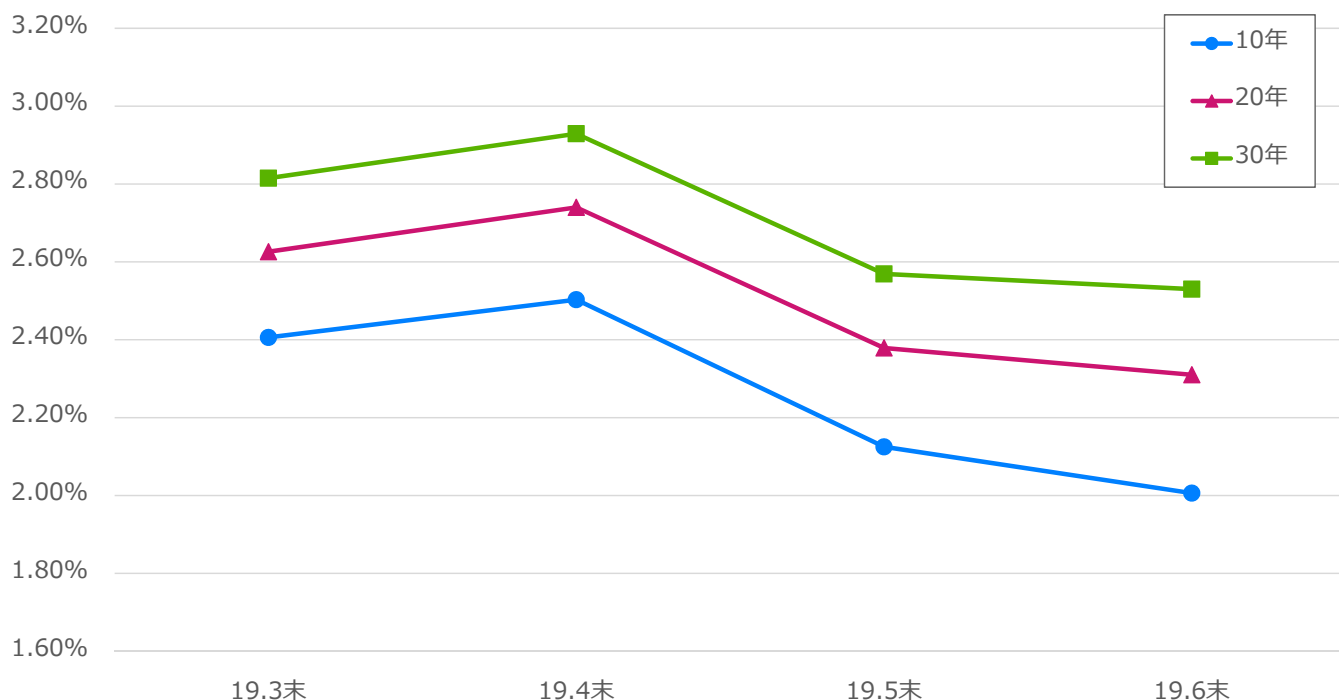
# リスクフリーレートの推移 (日本円/パーレート換算)



\* 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利 (3.5%) に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

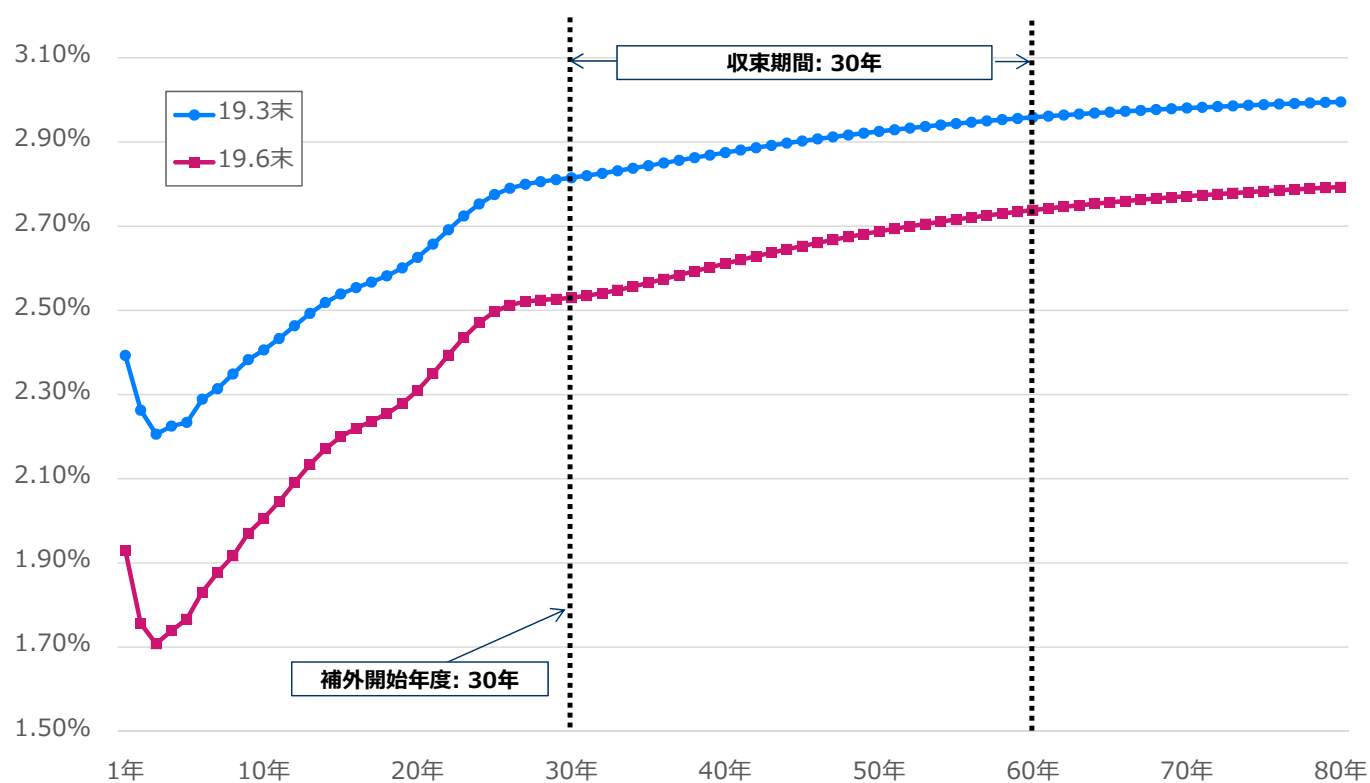
## 米国債レートの推移 (パーセント)



	19.3末	19.4末	19.5末	19.6末
10年	2.41%	2.50%	2.13%	2.01%
20年	2.63%	2.74%	2.38%	2.31%
30年	2.82%	2.93%	2.57%	2.53%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

## リスクフリーレートの推移 (米ドル/パーセント換算)



\* 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利 (3.5%) に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.



## 連結：要約財務諸表

		(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
生命保険事業	経常収益		3,794	<b>3,688</b>	△105	△2.8%
	経常利益		229	<b>283</b>	+53	+23.5%
損害保険事業	経常収益		297	<b>318</b>	+21	+7.3%
	経常利益		38	<b>38</b>	+0	+2.4%
銀行事業	経常収益		107	<b>119</b>	+11	+10.7%
	経常利益		22	<b>24</b>	+2	+9.2%
その他*	経常収益		7	<b>10</b>	+2	+32.7%
	経常利益		△1	<b>△2</b>	△1	—
グループ連結	経常収益		4,206	<b>4,136</b>	△70	△1.7%
	経常利益		288	<b>343</b>	+55	+19.3%
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益		200	<b>240</b>	+39	+19.6%

\* 持株会社（連結財務諸表提出会社）、介護事業及びベンチャーキャピタル事業にかかる損益と内部取引調整。  
FY18.2Qよりソニーフィナンシャルベンチャーズ、FY18.4QよりSFV・GB投資事業有限責任組合を含む。  
(注) 包括利益：FY18.1Q・・・157億円、FY19.1Q・・・255億円

		(億円)	19.3末	19.6末	前年度末比	
グループ連結	純資産		6,568	<b>6,552</b>	△16	△0.2%
	総資産		134,682	<b>139,893</b>	+5,211	+3.9%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

43

## ソニー生命：要約財務諸表（単体）



(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
経常収益	3,793	<b>3,688</b>	△105	△2.8%
保険料等収入	2,695	<b>3,014</b>	+318	+11.8%
資産運用収益	1,069	<b>643</b>	△426	△39.8%
利息及び 配当金等収入	404	<b>435</b>	+30	+7.6%
有価証券売却益	32	<b>12</b>	△20	△62.1%
為替差益	122	—	△122	△100.0%
特別勘定資産 運用益	498	<b>184</b>	△314	△63.0%
経常費用	3,560	<b>3,401</b>	△159	△4.5%
保険金等支払金	1,008	<b>1,094</b>	+86	+8.5%
責任準備金等繰入額	2,020	<b>1,689</b>	△330	△16.4%
資産運用費用	93	<b>144</b>	+51	+54.9%
金融派生商品費用	78	<b>15</b>	△62	△79.9%
為替差損	—	<b>110</b>	+110	—
事業費	354	<b>373</b>	+19	+5.4%
経常利益	232	<b>286</b>	+53	+23.2%
四半期純利益	163	<b>200</b>	+36	+22.2%

(億円)	19.3末	19.6末	前年度末比	
有価証券残高	95,238	<b>98,626</b>	+3,388	+3.6%
責任準備金残高	92,684	<b>94,369</b>	+1,685	+1.8%
純資産	5,139	<b>5,027</b>	△111	△2.2%
その他有価証券 評価差額金	1,227	<b>1,237</b>	+10	+0.8%
総資産	103,801	<b>107,676</b>	+3,875	+3.7%
特別勘定資産	13,007	<b>13,389</b>	+382	+2.9%

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
資産運用損益 (一般勘定)	477	<b>314</b>	△163	△34.2%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

44

## ソニー損保：要約財務諸表・種目別保険引受の状況



(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
経常収益	297	<b>318</b>	+21	+7.3%
保険引受収益	290	<b>312</b>	+21	+7.5%
資産運用収益	6	<b>6</b>	+0	+0.9%
経常費用	259	<b>279</b>	+20	+8.0%
保険引受費用	193	<b>209</b>	+16	+8.3%
営業費及び一般管理費	65	<b>70</b>	+4	+7.0%
経常利益	38	<b>38</b>	+0	+2.4%
保険引受利益	31	<b>32</b>	+0	+3.0%
四半期純利益	27	<b>27</b>	+0	+1.8%

(億円)	19.3末	19.6末	前年度末比	
責任準備金残高	1,278	<b>1,319</b>	+41	+3.3%
純資産	347	<b>351</b>	+3	+1.1%
総資産	2,196	<b>2,200</b>	+4	+0.2%

## ◆ 元受正味保険料

(注)「傷害」には医療保険を含む。

(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q	増減率	
火災	54	<b>374</b>	+582.7%	
海上	—	—	—	
傷害	2,163	<b>2,277</b>	+5.3%	
自動車	26,583	<b>27,695</b>	+4.2%	
自賠責	—	—	—	
合計	28,802	<b>30,347</b>	+5.4%	

## ◆ 正味収入保険料

(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q	増減率	
火災	4	<b>197</b>	—	
海上	—	—	—	
傷害	2,221	<b>2,244</b>	+1.0%	
自動車	26,524	<b>27,621</b>	+4.1%	
自賠責	300	<b>354</b>	+18.1%	
合計	29,051	<b>30,418</b>	+4.7%	

## ◆ 正味支払保険金

(百万円)	FY18.1Q	FY19.1Q	増減率	
火災	1	<b>3</b>	+96.6%	
海上	1	<b>△3</b>	—	
傷害	691	<b>763</b>	+10.5%	
自動車	12,052	<b>13,097</b>	+8.7%	
自賠責	329	<b>323</b>	△1.6%	
合計	13,076	<b>14,183</b>	+8.5%	

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

45

## ソニー銀行：要約財務諸表・格付け別有価証券残高



## ◆ 連結

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
経常収益	107	<b>119</b>	+11	+10.7%
経常利益	22	<b>24</b>	+2	+9.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14	<b>16</b>	+1	+8.9%

## ◆ 単体

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
経常収益	97	<b>107</b>	+10	+10.8%
業務粗利益	57	<b>62</b>	+4	+8.4%
資金運用収支	55	<b>59</b>	+3	+6.9%
役務取引等収支	△8	<b>△6</b>	+2	—
その他業務収支	10	<b>8</b>	△1	△16.4%
営業経費	37	<b>41</b>	+3	+9.0%
業務純益	19	<b>21</b>	+2	+10.6%
経常利益	20	<b>21</b>	+1	+6.9%
四半期純利益	14	<b>15</b>	+0	+7.1%

(億円)	19.3末	19.6末	前年度末比	
純資産	872	<b>858</b>	△14	△1.7%
その他有価証券 評価差額金	39	<b>40</b>	+1	+2.7%
総資産	28,609	<b>29,877</b>	+1,268	+4.4%

## ◆ 格付け別有価証券残高(単体)

(億円)	19.3末	19.6末	前年度末比	
AAA	2,966	<b>3,213</b>	+246	+8.3%
AA	773	<b>744</b>	△28	△3.7%
A	2,880	<b>2,988</b>	+107	+3.7%
BBB	244	<b>236</b>	△7	△3.1%
格付けなし	100	<b>98</b>	△1	△1.3%
合計	6,964	<b>7,281</b>	+317	+4.6%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

46

# ソニー銀行：業績（社内管理ベース）

## ◆ 社内管理ベース

- ・ 資金収支：有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息の増加により、増加。
- ・ 手数料等収支：住宅ローンの手数料収入の増加などにより、改善。

(億円)	FY18.1Q	FY19.1Q	前年同期比	
<b>業務粗利益</b>	57	<b>62</b>	+4	+8.4%
資金収支* <sup>1</sup> ①	62	<b>64</b>	+2	+3.4%
手数料等収支* <sup>2</sup> ②	△7	△4	+2	—
その他収支* <sup>3</sup>	2	<b>2</b>	△0	△0.5%
<b>コアベース業務粗利益(A) =①+②</b>	54	<b>59</b>	+4	+8.9%
<b>営業経費等 ③</b>	38	<b>41</b>	+2	+7.3%
<b>コアベース業務純益 =(A)-③</b>	16	<b>18</b>	+2	+12.8%

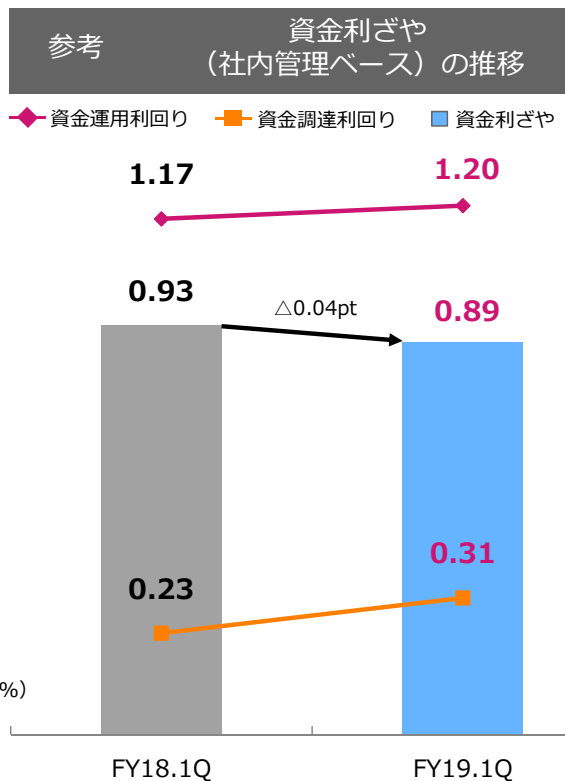
## ■ 社内管理ベース

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

- \*1 資金収支 …… 資金運用収支+その他業務収支に計上されている  
実質的な資金運用にかかる損益（為替スワップ収益等）
- \*2 手数料等収支 … 役員取引等収支+その他業務収支に計上されている  
お客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- \*3 その他収支 …… その他業務収支から \*1 と \*2 の調整分を控除したもの  
（主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益）

## ■ コアベース

社内管理ベースのその他収支（主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益）を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な利益を表すもの



(注) 資金利ざや = 資金運用利回り - 資金調達利回り

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.



お問い合わせ先：

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR部  
TEL：03-5290-6500（代表）